

経営比較分析表（平成30年度決算）

和歌山県海南市 海南医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上~200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	14	対象	ド訓	救 臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
51,079	10,377	非該当	7 : 1	

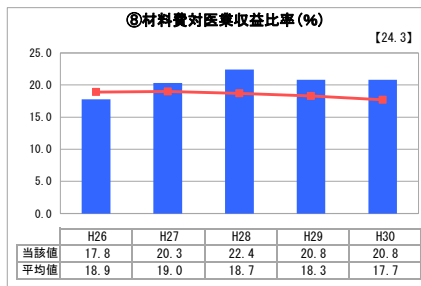
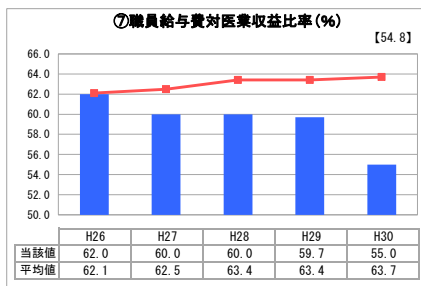
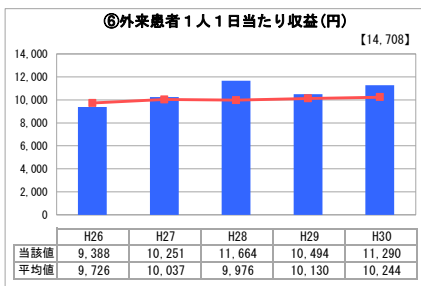
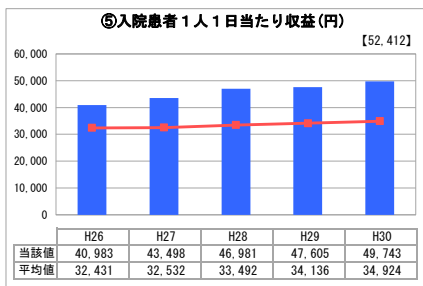
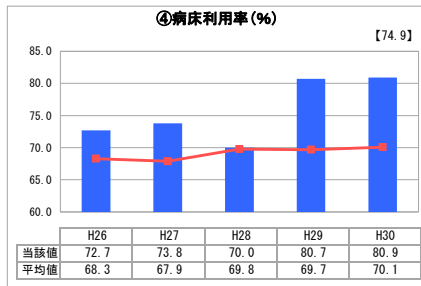
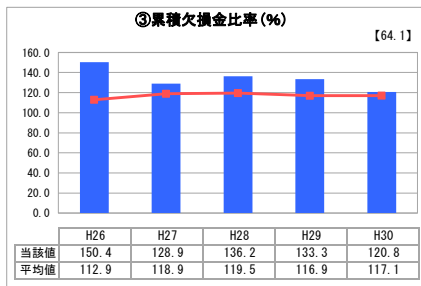
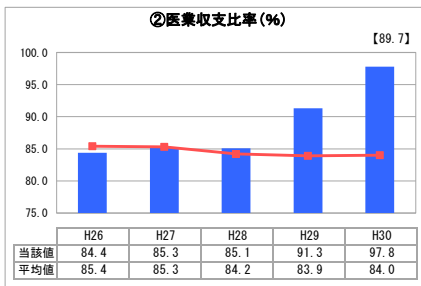
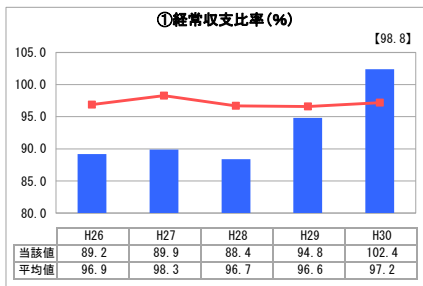
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

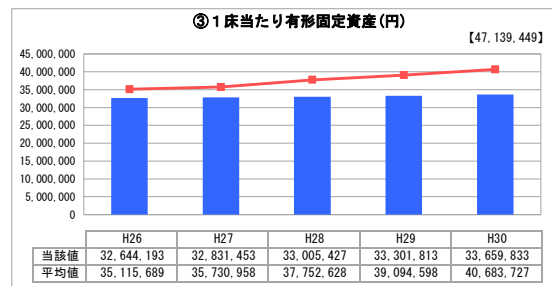
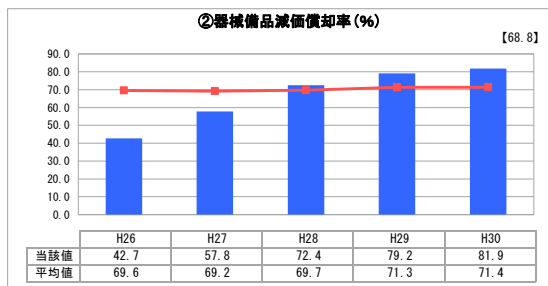
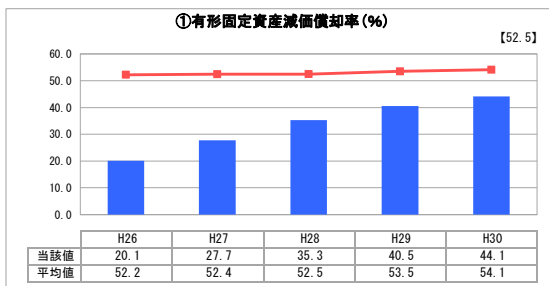
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
150	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	150
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
150	-	150

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

救急医療・小児医療の役割を担っており、地域医療機関との連携強化に加え、特に救急の受け入れ体制の強化を図っている。管轄消防による救急搬送件数のうち、和歌山県立医科大学付属病院に次ぐ、受け入れ実績があり、平成25年の開院時から増加傾向にある。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

新入院や手術件数の増加により医業収益が増加したことに加え、平成25年の新築移転から6年が経過したことによる減価償却費の低減や経費の削減効果もあり、経常収支も改善基調にあったが、平成30年度決算では、新病院開院後初めて経常収支比率が100%を超えた。

2. 老朽化の状況について

平成25年3月開院のため、建物や設備等に大きな老朽化は見られず、有形固定資産全体では、減価償却率は同規模平均よりも下回っている。しかしながら、器械備品については、新病院開院時に整備したのも多く、今後、更新が必要となるため、負担の平準化を考慮しながら購入計画を策定している。

全体総括

平成30年度は、新入院患者の増加等もあり、病床利用率も一定の水準を維持し、入院単価も増加したことにより医業収益が増収となった。一方、費用においても、減価償却費の低減、経費削減等により経常収支は大きく改善した。
また、医業収益に対する職員給与費比率も減少したが、人材の確保や育成は重要課題であると考へており、今後、会計年度任用職員移行に伴う処遇改善による人件費の増加が見込まれる。加えて医療機器の更新による減価償却費の増加も予想され、引き続き、安定的な病院運営ができるよう取り組んでいきたい。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。